



横浜市立富岡小学校

学校だより7月号



夏休みが近づいてきました

校長 浅野 修一

花だん隊の皆様と3年生で植えた給食室前の花壇の花も、たつぷりと水を吸いしっかりと根付き、きれいに咲き誇っています。今年は梅雨入りが遅いといった声も忘れてしまうほど、街はすっかり湿気を含んだ風に変わり、教室ではエアコンがフル稼働しています。そんな中ですが、子ども達は梅雨の晴れ間を見つけて、元気いっぱい校庭で遊んでいます。

これからは新型コロナウイルスだけではなく、熱中症にも気を付けなければいけない季節になります。昨年同様、登下校時は、しゃべらないことを前提にマスクを外してよいと指導しております。また学校では、WBGT計を常時校庭に置き、熱中症指数を確認しながら子ども達の活動を見守っております。また、PTAより「クールタオル」を全児童に配布していただきました。これは運動会の記念品として準備されたものですが、これからの季節に使えるよう、先行して配布していただきました。登下校時に水で濡らして首に巻いたり、顔を拭いたりする様子が見られます。熱中症予防に大変役立っています。

6月に入り、登下校時の見守り活動も本格的に始まりました。地域の皆様が当番を決めて、子ども達の見守りを行っていただいております。これまで「とみおか学援隊」としてパトロールしていただいているPTAの見守り活動も、より充実させる方向で取り組んでいただいております。また保護者の皆様には、引き続き登下校時に付き添いをしていただいております。ご協力いただいている皆様から感謝申し上げますとともに、これからも無理なく継続して続けられるような見守り活動を展開できればと考えております。

6月25日(金)に、1～3年生を対象に「はまっ子交通安全教室」を開催いたしました。金沢警察署と金沢区交通安全協会、交通安全指導員の方々に、歩行指導と自転車の乗り方についての指導をしていただきました。1、2年生は、校庭にかかれた歩道や横断歩道を実際に歩きながら、安全な歩行について学習しました。3年生は、指導員の方の模範走行を見ながら、正しい自転車の乗り方について学びました。時折雨が降るあいにくの天候でしたが、子ども達は真剣に学習に取り組んでいました。

今後も地域、保護者、関係諸機関と連携しながら、子ども達の安全確保に努めてまいります。ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

早いものであと20日ほどで夏休みに入ります。今この期間に、前期前半のまとめをするとともに、夏休みに取り組みたいことや力をつけたいことを見つける時間にしてほしいものです。コロナ禍の続く夏休みとなりそうですが、37日間という長い休みにしかできないことを見つけ、有意義に過ごせるといいですね。継続的に観察したり学習したり運動したり…たとえ1回が短い時間でも、毎日続けることで大きな力になります。われわれ大人はこれまでの経験から「継続は力なり」ということを理解できますが、子どもにはなかなかわからない感覚なのかもしれません。学校でも、計画的に毎日少しずつ課題に取り組めるよう指導してまいります。ぜひご家庭でもお声掛けいただきますようお願いいたします。8月27日の前期後半の授業開始日に、富岡小学校の子ども達全員の笑顔が見られることを楽しみにしています。